

陳情第 11 号

長崎市給食センター設置検討計画に関する陳情書

平成 29 年 11 月 30 日

長崎市議会議長

野口 達也 様

陳情人

長崎市馬町ビル 25-2

長崎市役所馬町ビル 3F

長崎市 PTA 連合会

会長 原 拓也



電話番号



## 長崎市給食センター設置検討計画に関する陳情

### 陳情の趣旨

昨年10月、長崎市PTA連合会に対して、「学校給食施設については、学校に施設を設けず、集約化で検討を進め、その方策として給食センターを建設し、学校給食の充実を図る方向で検討していく」という説明がありました。先日、学校給食センターの整備を検討するに当たり、長崎市PFI基本指針に基づきPFI導入可能調査を行う説明がありましたが、学校給食センター整備の考え方について、十分な協議はできていません。

長崎市の財政状況からやむを得ない方針であることに一定の理解はしつつも、自校方式（学校の調理室で調理）や地域の共同調理場の細やかな対応に比して、サービスの低下を心配する保護者の声は少なくありません。

衛生基準の厳密化に対応していない老朽化設備と衛生状態の改善や、設備機器の充実による献立の多様化は期待できることでしょう。しかし、アレルギーを持つ児童生徒のアレルゲン除去食にどこまで対応していただけるのか、自分たちが栽培した野菜を自校で調理していただく原体験などの食育の取り組みはどう実現されるのか、地産地消はさらに手の届かない遠くへ行ってしまうのか、すでに最新の調理施設を持つ学校も集約されてしまうのか、豊洋台の建設予定地についての立地の可否、現時点で住民が反対する中用途地域を変更し、住宅地に工場が稼働して通学路の安全面などの問題はないのか、学校適正配置との兼ね合いは、能力規模は適正か、など心配は尽きません。

しかし残念ながら、どのような給食のあり方が望ましいかとの議論がこれからようやくという時に、すでにPFI導入可能調査費が執行され、「学校給食センター整備基本構想」が示されないまま、PFI事業者の公募、計画実行と進んでいることを危惧します。

はじめに場所ありき、それ自体は問題ではありません。しかし優先して検討すべき内容と過程が疎かにされています。子供たちに「安全・安心でよりおいしい給食を」という思いは、行政も保護者も同じだと思います。給食センターは今後10年20年、子供たちの体と心の発育を支える施設です。保護者と教員も材料費を負担しています。どのようなあり方が望ましいか、共通の目的意識であるその議論を尽くさないままに、場所と規模が既成事実として決定されていくことに異を唱えます。

### 陳情項目

- 一 外部有識者やPTA、学校関係者等からなる学校給食検討委員会の設置をお願い申し上げます。
- 一 ~~市がPFI導入予算の議案上程を一時停止し~~、私どもPTAと給食の望ましいあり方について十分な議論がなされ、具体的な設置計画が示された状態で、慎重に設置計画を審議していただきますようお願い申し上げます。